

令和3年度決算について(概要)

(1) 資金収支計算書関係

令和3年度の資金収支の状況は、当該年度の収入額が39億5,748万3,280円、これに、前年度より繰り越された25億8,128万1,675円を加えると収入の部合計は、65億3,876万4,955円となった。

一方、支出額は、38億8,520万7,647円であったので、差引26億5,355万7,308円が翌年度の繰越支払資金となり、昨年度より7,227万5,633円増加した。これは、JA建物共済の満期による共済金の受け入れによる収入の増、支出における人件費支出の減によるものである。

(2) 事業活動収支計算書関係

令和3年度の事業活動収支決算のうち、教育活動収支の概要について予算との対比で説明すると、収入については、学生生徒納付金、寄付金、経常費等補助金および付随事業収入において予算額を上回り、手数料、雑収入において予算額を下回った。

学生生徒等納付金については、25億8,319万4,080円、経常費等補助金は7億9,172万5,797円、手数料が4,549万1,604円、雑収入が3,897万47円となった。これらの結果、教育活動収入額は、予算を2,565万8,408円下回り、34億7,443万5,592円となった。

一方、支出については、人件費を除く教育研究経費、管理経費において予算額を下回りその結果、教育活動収支における教育活動支出額は、36億9,557万8,238円となった。

教育活動収支差額は△2億2,114万2,646円となり、その他の教育活動外収支差額及び特別収支差額を合わせて、基本金組入前当年度収支差額は、△1億8,133万462円となった。

また、基本金への組入額は、1億9,359万7,246円となっている。この内訳は、7号館の改修や教育研究用機器備品の購入など、第1号基本金への組入となっている。

基本金組入後の当年度収支差額は、△3億7,492万7,708円で、これに、前年度の繰越収支差額と基本金取崩額を合算した翌年度繰越収支差額は△48億8,416万9,439円となった。

(3) 貸借対照表関係

学園の財政状態を貸借対照表によって説明すると、令和3年度末現在の資産の総額は、148億6,933万758円となった。その内訳は、有形固定資産107億5,031万7,802円、特定資産11億1,281万9,837円、その他の固定資産3億1,348万4,456円及び流動資産26億9,270万8,663円(内 未収金3,432万8,241円)である。

他方、負債の総額は、退職給与引当金、前受金など固定負債及び流動負債を合計して25億6,283万1,424円、基本金は、校地、校舎、機器備品、図書など教育研究に必要な資産の自己調達額を示す第1号基本金が169億1,666万8,773円、学校を恒常的に維持するための資金を示す第4号基本金が2億7,400万円となっている。